




**芦屋町の
特別支援教育**

▷問い合わせ 学校教育係
(☎223-3547)


芦屋町では、一人一人に合った特別支援教育のさらなる推進に取り組んでいます。



小中学校の特別支援学級を紹介します。新たに芦屋東小学校に肢体不自由学級ができました。

令和5年度 特別支援学級

	芦屋中学校	芦屋東小学校	芦屋小学校	山鹿小学校
知的学級	かがやき学級	たんぽぽ学級	こすもす学級	ひまわり学級
情緒学級	きらめき学級	パンジー学級	さくら学級	なのはな学級
難聴学級	*****	*****	あさがお学級	*****
肢体不自由学級	*****	つくし学級	*****	*****




★芦屋町の
特別支援教育の特色です

- すくすく発達相談
- 巡回相談

町では、臨床心理士が直接、幼稚園・保育所（園）や小中学校を訪問し、生活場面や授業中などの子どもの様子を観察し、その子に必要な支援の内容や方法を保育士や教員に助言しています。これらの相談をとおして、すべての子どもが長期にわたる継続した支援を受けることができます。

また、保護者も「すくすく発達相談」や「巡回相談」を活用して、臨床心理士に相談をすることができます。



●通級指導教室

通級指導教室では、読み書きに時間がかかったり、友だちとのコミュニケーションがうまく取れなかったりするなど、学習面や行動面、対人面などで困りごとを抱えている子どもに対し、一人一人の状況に応じた指導を行います。子どもは通常学級に籍を置いているため、学校生活のほとんどは通常学級で過ごしますが、週に1～数時間を通級による指導の時間として通級指導教室に移動し、それぞれの困りごとや課題に合わせた支援・指導を受けます。

芦屋町には通級指導をする教員が芦屋東小学校と芦屋中学校にいます。芦屋東小学校に在席している担当教員は町内3小学校の通級指導を行います。そして、子どもが在籍するそれぞれの小学校で通級指導を受けることもできます。もし、子どもが学校生活に困っていたら、学校や教育委員会まで気軽に相談してください。





薬物から子どもを守る

近年、若者を中心に薬物による検挙者が急増しています。インターネットの利用をきっかけに違法薬物に関する情報を得てしまい、薬物を乱用してしまう子どもは少なくありません。そこで今回は薬物の危険性を話します。

薬物の乱用は大切な脳を傷つけます。人間の脳は、20歳ごろまで成長するといわれています。特に、小学生、中学生、高校生の時期は、心身ともに発達するときです。家庭や学校で学び、家族、先生や友だちと話し合うことで、知識や物事の考え方を学び、自分らしさを発見していく大切なときです。この時期に薬物を乱用すると、脳や体の成長がストップし、感情のコントロールができず、意欲がなくなる、怒りっぽくなるなど、心身の発達が損なわれて、家族

や友だちとのコミュニケーションもできなくなってしまう。そして、健康な社会人となることができなくなるのです。

また、薬物依存になると、不安、被害妄想などの症状が現れ、幻覚や妄想によって、殺人、放火などの重大犯罪を引き起こすこともありま。さらに、薬物を入手するために、無理な借金や窃盗、詐欺、売春などの犯罪を犯すようになります。

このように、覚せい剤や麻薬、大麻、危険ドラッグなどの薬物乱用は、本人の健康やその周りの人々に計り知れない害悪をもたらしますが、薬物に関する情報はインターネットなどのSNSに紛れ込み、皆さんが知らないうちに、子どものもとに届いています。周りの環境や友人からの影響を受けやすい子どもを、薬物乱用の魔の手から守るには、誤った情報を入手してしまわないように危険な情報を遮断するとともに、日頃から家庭の中で薬物の恐ろしさを教えることが重要です。周囲の大人が決して薬物に手を出さない、薬物乱用を許さないという社会環境をつくり、「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、子どもを薬物から守っていきましょう。



リーど通信 No. 49

ボランティア活動センター 令和4年度活動報告

▽問い合わせ
ボランティア活動センター
(☎221・1011)

●ワールドカフェ

活動団体の交流・活性化を目的に、意見交換を行いました。



意見・アイデアを付箋紙に書き出していくワールドカフェ方式を新しく取り入れました。

●ふうせんバレーボール体験研修

ボランティア人材育成研修として、障がいのある人もない人も一緒に楽しむことができる「ふうせんバレーボール」の体験研修を行いました。

●クラフトマーケット

ボランティア活動センターの登録団体や町内福祉施設が創作した手作り作品の展示・販売を行いました。

●あしやまちマーケット

町内で活動している個人・団体が出店者となり、来場者は買い物や交流を楽しみました。

●リーどぼらんていあキッズ

年間6回の研修会を行いました。ハーバリウムボトルを作って町内の各施設に寄贈したり、



芦屋海岸のごみ拾いを行ったりしてボランティアに関して学習しました。

5年度は、ボランティア活動を始めようと思っている人には、新しい体験や人との出会いを、活動中の人には、自身の活動を見つめ直し、新たな気づきを得るきっかけづくりとなるようなイベントを開催する予定です。

社会問題にも目を向け、子育て支援、子ども食堂、フードパントリーに関する講演や見学生体験研修などを企画していますので、楽しみにしてください。